



校長室だより No. 10 (令和3年2月26日)



花桃が咲き始めました

まだ2月なのに暖かい日が…とっていたら、先週水曜日から春野も辺り一面の雪景色。膨らんでいた校長室南の庭の花桃のつぼみもキュッと身を縮めたようでしたが、週末の暖かさで一気に咲き始めました。季節はどんなに止まっているように見えても、確実に日差しを柔らかく、暖かくし、草木の芽吹きを誘い、そして私たちに明るい未来を感じさせてくれます。3学期も後わずかになってきましたが、今年度で若草から卒業する本校・分校の13名の高等部3年生の皆さんには、それぞれが若草で過ごした日々や、これからの未来に思いをはせながら締めくくりをして欲しいと思っています。また、小中学部を卒業する皆さんも、新しい学部で学校生活に向けて、今年学んだことを自信にして、新たなスタートラインに立てるよう準備をして欲しいと思っています。

また、各学校では来年度の新入学を予定している小学生や中学生の入学準備会が行われています。高等部の合格発表も3月3日と近づいています。桜咲く4月が楽しみです。



雪のプレゼント 本校2月19日

高知市内でも雪の降った日の翌日、津野町の日赤奉仕団の皆さんから雪のプレゼントが届きました。津野町では40cmほど、天狗高原はトラックが上げられないほどの積雪だったそうです。

若草への雪のプレゼントは3年ぶりということで、小学部を中心に、トラックからの3トンの雪をグラウンドに降ろすところから見学、その後奉仕団の方や先生方が作った雪の坂道で、そり滑りを体験しました。初めて経験する児童も多く、冷たい雪にびっくりしたり、そり滑りに大はしゃぎでした。

雪国に行くことはなかなかチャンスがありませんが、こんな機会は子どもたちには、とてもありがたい貴重な経験でした。

外部専門家活用事業

若草では、教員が行う子どもたちの身体の動きに関する配慮や指導については、理学療法士の野中先生に助言を受けながら取り組んでいますが、そのほかに医療分野（医師、言語聴覚士、視機能訓練士など）や、パソコンやタブレットの利用についてICT支援員などの専門家の活用にも取り組んでいます。

学校運営協議会・開かれた学校づくり推進委員会を開催しています



1年間の学校の取組について、本校・分校それぞれに学校評価アンケートを実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。各校ごとに、今年度の目標に対して取組の振り返り、「自己評価」を行い、その結果を保護者や関係機関の方々にも評価（学校関係者評価）させていただきました。

本校では2月19日（金）に学校運営協議会を開催し、学校評価とともに、次年度の学校の重点的な取組について承認をいただきました。子鹿園分校は2月24日に、土佐希望の家分校は3月12日に開かれた学校づくり推進委員会を実施、または実施予定です。

実施した本校や子鹿園分校では、公開授業等を通じて客観的な振り返りを行いながら授業改善に取り組んでいることや、学習評価を教育課程の改善に繋げていること、文化・芸術やスポーツの振興についても、児童生徒の卒業後を見据えた社会参加の機会の拡大などにつながっていることなどに評価をいただきました。また、保護者への情報提供について、必要な情報を的確に「分かりやすく」発信して欲しいという意見も出されました。今後の取組に活かしていきたいと思っております。

学校評価の結果は、それぞれの学校のホームページで公開していく予定ですのでご覧ください。

新型コロナ「注意」レベル

2月22日には、本県の新型コロナウイルス感染症の対応の目安が「**注意**」レベルとなりました。本人やご家族に発熱など体調不良がある場合など、登校について気になる場合は必ずお電話等でご相談ください。（登校した場合、ご家族の状況等により、必要と思われる期間、別室や個別の対応を取らせていただくこともありますので、ご了解ください。）